

## 目 次

第2版はしがき	
はしがき	
凡 例	
著者紹介	
<b>序 章 家族法を学ぶための基礎知識</b>	<b>1</b>
第1節 家族法の意義と変遷	2
第2節 親 族	3
第3節 氏名と戸籍	9
第4節 家事紛争の解決方法	11
<b>第1章 婚姻の成立</b>	<b>17</b>
第1節 婚姻の意義	18
第2節 婚姻成立の要件	20
第3節 婚姻の無効と取消し	25
第4節 婚約・結納・内縁	29
<b>第2章 婚姻の効果</b>	<b>33</b>
第1節 一般的效果	34
1—夫婦の氏 34	
2—同居・協力・扶助の義務 37	
3—貞操義務 38	
4—契約取消権 39	
第2節 財産的效果	40
1—夫婦財産契約と夫婦財産別産制 40	
2—婚姻費用の分担 44	
3—日常家事債務の連帯責任 45	
<b>第3章 離婚の成立</b>	<b>47</b>
第1節 離婚制度の変遷	48
第2節 離婚の手続	51
1—協議離婚 51	
2—調停離婚・審判離婚 53	
3—裁判離婚 54	

第3節	有責主義と破綻主義	58
<b>第4章</b>	<b>離婚の効果</b>	<b>63</b>
第1節	離婚による婚姻解消の効果	64
第2節	財産分与	64
第3節	子の養育	71
<b>第5章</b>	<b>親 子</b>	<b>77</b>
第1節	実 子	78
	1—嫡出子 78 2—嫡出でない子 82 3—生殖補助医療と 親子関係 86	
第2節	養 子	89
	1—普通養子 90 2—特別養子 95	
<b>第6章</b>	<b>親権, 後見, 扶養</b>	<b>101</b>
第1節	親 権	102
第2節	後 見	108
	1—未成年後見 109 2—成年後見 112	
第3節	扶 養	117
<b>第7章</b>	<b>相 続</b>	<b>121</b>
第1節	相続の意義と根拠	122
第2節	相続法の歴史と現在	124
第3節	相続の開始	129
第4節	相続回復請求権	131
<b>第8章</b>	<b>相続人と相続分</b>	<b>137</b>
第1節	相 続 人	138
	1—法定相続人の種類と順位 138 2—代襲相続 140 3—相続資格の重複 142	
第2節	相続欠格と廃除	142
第3節	法定相続分と指定相続分	147

第4節	具体的相続分	152
	1—特別受益 152	
	2—寄与分 156	
	3—特別受益と寄与分 の関係 158	
第5節	相続分の譲渡と取戻権	159
<b>第9章</b>	<b>相続の承認と放棄, 相続人の不存在</b>	<b>161</b>
第1節	承認・放棄の共通ルール	162
第2節	単純承認	164
第3節	相続放棄	165
第4節	限定承認	169
第5節	相続人の不存在	171
<b>第10章</b>	<b>遺産分割</b>	<b>177</b>
第1節	相続財産	178
第2節	遺産共有	181
第3節	遺産分割手続	190
第4節	配偶者居住権	198
第5節	相続法と相続税	202
<b>第11章</b>	<b>遺言と遺贈</b>	<b>205</b>
第1節	遺言の意義	206
第2節	遺言の成立	207
第3節	遺言の効力	215
第4節	遺言の執行	220
<b>第12章</b>	<b>遺留分</b>	<b>223</b>
第1節	遺留分の意義	224
第2節	遺留分の算定	226
第3節	遺留分侵害額請求権	230
	参考文献ガイド	235
	判例索引	239
	事項索引	242

◻ WINDOW 目次
 ◀▶

序-1 親等の計算	7	6-2 国際的な子の連れ去りとハーグ条約	105
序-2 姻族関係終了届(死後離婚)	9	6-3 成年後見制度の改正	113
序-3 家事事件手続法の制定	13	7-1 同時死亡の推定	131
1-1 同性パートナーシップと同性婚	20	7-2 共同相続人間における相続回復請求	135
1-2 再婚禁止期間の合憲性	23	8-1 同時存在の原則と胎児	140
1-3 子を嫡出子にするための婚姻	26	8-2 遺言書の破棄・隠匿と二重の故意	145
1-4 知らぬ間の婚姻	27	8-3 嫡出でない子の相続分	149
1-5 内縁準婚判決	31	8-4 相続人ではない者による寄与	158
2-1 選択的夫婦別姓への動き	36	9-1 熟慮期間の起算点	163
2-2 単身赴任と同居協力義務	38	9-2 財産分離	170
2-3 家事の値段	43	9-3 介護サービス事業者の特別縁故者 該当性	175
2-4 日常家事代理権と表見代理	46	9-4 特別縁故者への相続財産分与と 共有持分	175
3-1 縁切寺と離縁状	49	10-1 遺体の帰属	181
3-2 離婚も方便	52	10-2 相続分指定がある場合	189
3-3 離婚届不受理申出書	52	11-1 死因贈与	207
3-4 アルツハイマー病離婚	56	11-2 自筆証書遺言の保管制度	209
3-5 有責配偶者の離婚請求	59	11-3 聴覚・言語機能障害者に関する特則	210
3-6 5年別居離婚案	60	11-4 死因贈与の撤回	214
4-1 配偶者との死別	65	11-5 すべての財産を特定の相続人に 相続させる遺言	221
4-2 離婚時の年金分割制度	68	12-1 直系尊属の遺留分	225
4-3 過去の婚姻費用	68	12-2 すべての財産を特定の相続人に 相続させる遺言がなされた場合の 遺留分侵害額の算定	228
4-4 財産分与と税金	69		
4-5 離婚後の共同親権・共同監護	73		
4-6 面会交流の強制	74		
5-1 嫡出推定制度の見直し	81		
5-2 凍結精子による死後懐胎と父子関係	87		
5-3 生殖補助医療をめぐる立法の動き	88		
5-4 特別養子縁組の戸籍	98		
6-1 子の引渡し	103		